

## 令和7年度 第3回白馬村図書館協議会 議事要旨

日時：令和8年3月13日（金）午後3時30分～

場所：白馬村役場 2階 庁議室

区分	氏名	所属	出欠
委員	富山 正明	白馬村社会教育委員長	○
	太田 洋一	白馬村公民館長	—
	本多 希	白馬高等学校	—
	篠崎 千恵	白馬南小学校	—
	高橋 英子	公募委員	○
	伊藤まゆみ	公募委員	○
	戸谷小百合	公募委員	○
	千國幸子	公募委員	—
事務局	鈴木 広章	生涯学習スポーツ課長兼図書館長	○
	松沢 由美子	白馬村図書館司書	○
	大坪 裕子	白馬村図書館司書	—
	山岸 由美	白馬中学校図書館司書	—
	海端 弥生	白馬北小学校図書館司書	○
	内川 直人	生涯学習スポーツ課生涯学習係長	○

### 1. 開会

### 2. あいさつ

### 3. 会議事項

#### (1) 第4次図書館基本計画の策定について

事務局が基本計画（案）で修正した内容（資料赤字部分）について説明。

#### ○事務局

前回会議の内容を踏まえ、変更点を赤字で示した。

前回会議では、地域資料を保管する使命・気軽に図書館に足を運ぶきっかけづくり・他団体（特に中高生）との連携・情報共有の拠点としての役割の4点について意見をいただいた。また、外国語資料を今後どのように収集していくか研究が必要との認識を共有した。

それらを反映し、ポイントを絞って表現を柔らかいものにしたのが今回の案である。

基本方針の1つ目は子どもに関するもので、子ども読書推進計画の策定を軸にイベントにも取り組んでいくもの。詳細の取り組み事項は、子ども読書推進計画で示したい。

2つ目は、誰もが気軽に利用できるための取り組みで、多くの方と連携して関係人口を増やしていくことや、外国語資料を含めたニーズの把握について記載した。イベントについては活発な取り組みを期待する声も寄せられている。

3つ目は、地域資料を集めて保管する公立図書館としての使命に関するもので、すでに地域資料の作成や活用に向け検討を始めているところではあるが、より充実させていきたいものである。

資料についての説明は以上だが、計画について本日内容を固め、パブリックコメントを実施し、来年度の第1回委員会で最終決定していきたい。

なお、この3月末日をもって委員の皆さんの任期が一旦区切りを迎えるが、ぜひ引き続き協力をお願いしたい。任期満了に伴う委員の公募を4月いっぱいまで予定しているため、第1回委員会は5月以降を予定している。

#### ○委員

安曇野市中央図書館を利用した際、子ども向けの本が2～3冊束にして置いてあり、手に取りやすかった。白馬村図書館は、どこに何があるか分かりにくい。キャラクターを飾り本の目印にするなど、子どもが自分で選べる環境があれば定着しやすいと考える。特に4～5歳の子どもに関しては、どういった本を選べばよいか親も難しい。

また、いい本があるのに利用者に伝わっていないと感じる。保健師と連携して周知するなど取り組んでみてはいかがか。

#### ○委員

昔は「小説」、「漫画」といったジャンル別に並んでいたが、最近は「車」、「動物」などテーマごとにまとめているところがあり、選びやすいと感じる。白馬村図書館も並べ方を工夫して今後の運営に活かしてほしい。

#### →事務局

目印用の飾りは行っていたが、工事に伴い現在は撤去してある状態。いただいた意見を参考にさせていただく。

#### ○委員

P13 に特集を組んだ展示の写真があるが、知らなかった。周知方法の検討と、このように本の内容がわかる工夫をお願いしたい。

#### ○委員

図書館に行かなければ情報を入手できないのではなく、商業施設や駅など一般の方が集まる場所への掲示や展示はできないのか。

#### ○委員

まずは役場村民ホールやふれあいセンターといった公的機関からでいかがか。

#### →事務局

セキュリティ上、無人の状態で見物物を展示するのは難しい。ポスター等の掲示につい

ても、許諾の関係から書影の掲載は難しく、リストのような形になる。

○委員

防災はくばは活用できないか。自分の意志と関係なく耳に入ってくるため、毎週のよう  
に放送しているものは記憶に残る。

→事務局

庁内全体で量のバランスを取っているため検討する。

○委員

イベント等の情報集約について、「図書館に行けば情報がある。」という状態が重要で、  
そのことを周知する。イベントそのものをPRする訳ではないため可能ではないか。

○委員

紙媒体のサイズを統一するなどルールを決めたうえで、図書館の意義を作っていくこ  
とが大事だと考える。

○委員

地域資料の収集について、村の70周年に合わせて過去資料の収集に力を入れてほしい。  
そして、日々変化する今も記録してほしい。

○委員

知人が白馬村を題材にした古い映画を持っていると聞いている。また、白馬小唄のカ  
セットも日本語版と英語版があるとも聞いている。講師の高齢化や後継者不足により小  
学生への講習も継続できるか不透明なため重要な資料ではないか。

→委員

そのような物をデータとして村で持つておくことが重要である。資料そのものだけで  
なく、「こんなものがある。」「誰々が持っている。」といった情報の収集も重要と考える。

○委員

今後に向けて色々いい意見が出たが、前回会議の内容を含め、計画案に反映されてお  
り、問題ないと考える。

→委員

異議なし。

→事務局

冒頭説明のとおり、パブリックコメントや委員の公募を経て、改めてお諮りしたい。

#### 4. その他

特になし

#### 5. 閉会